

タウンセンターに“まちのなかのまち”を創ります

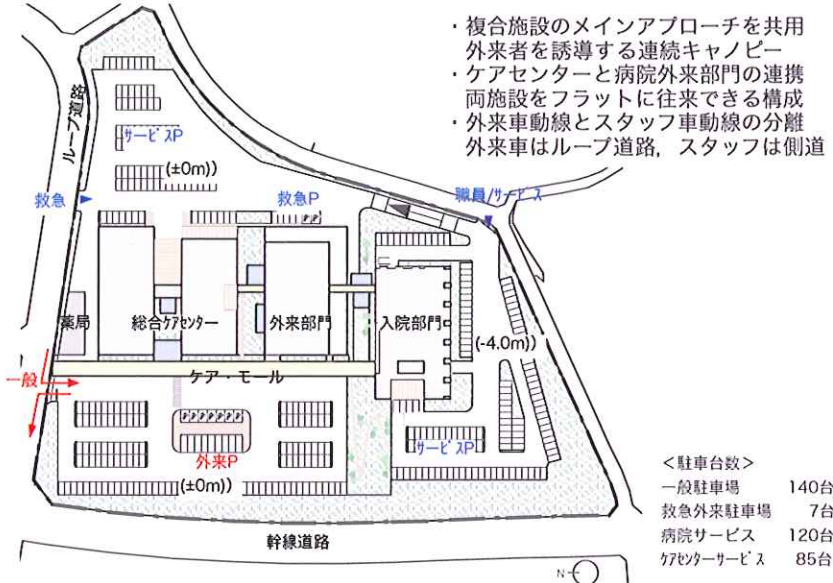
■幹線道路沿いに賑わいと表情を

高台を造成し、新たにまちの中心の賑わいを連続的に形成することで新しいまちの魅力は増加します。

- ・幹線道路沿いに人々を呼び込む仕掛けオープンスペースを設け祝祭性を演出
- ・道路から見える町並みを作る
- ・施設は独立ではなく連接させる
- ・外来車に分かり易い入り口とサイン
- ・ショッピングセンターに学ぶ誘導方法
- ・公共交通の立寄スペース
- ・公共バスのバス停と巡回スペース

■敷地の高低差を利用した計画

- ・複合施設のメインアプローチを共用
- ・外来者を誘導する連続キャンビー
- ・ケアセンターと病院外来部門の連携
- ・両施設をフラットに往来できる構成
- ・外来車動線とスタッフ車動線の分離
- ・外来車はループ道路、スタッフは側道

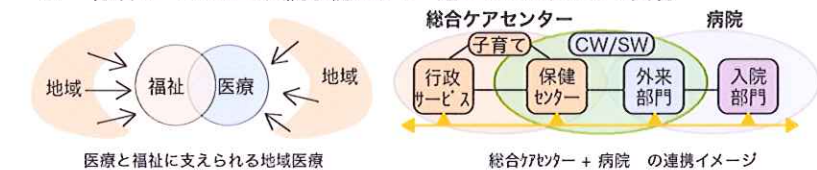


＜配置計画＞

総合ケアセンターと病院のより強固な連携を実現

～丘陵地でのワンストップサービスの提案～

- 病院の外来部門と入院部門を分離し平行に配置（段差利用）
- 保健センターと外来部門をスタッフ動線で連結／連携強化
- 保健センター、外来部門、入院部門をケアモールで連結
- 行政サービスから入院手続きまで一連がワンストップで実現



基本構想



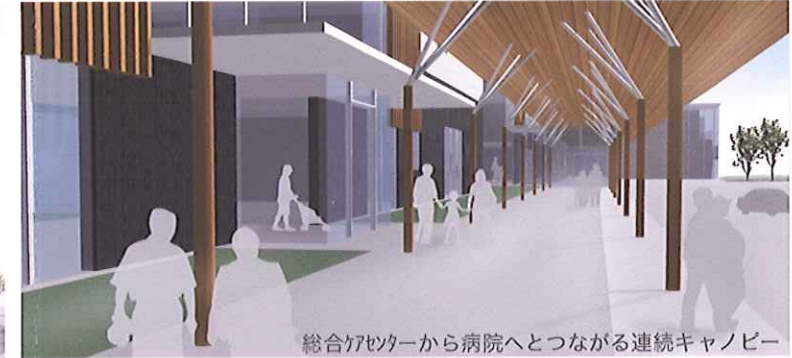
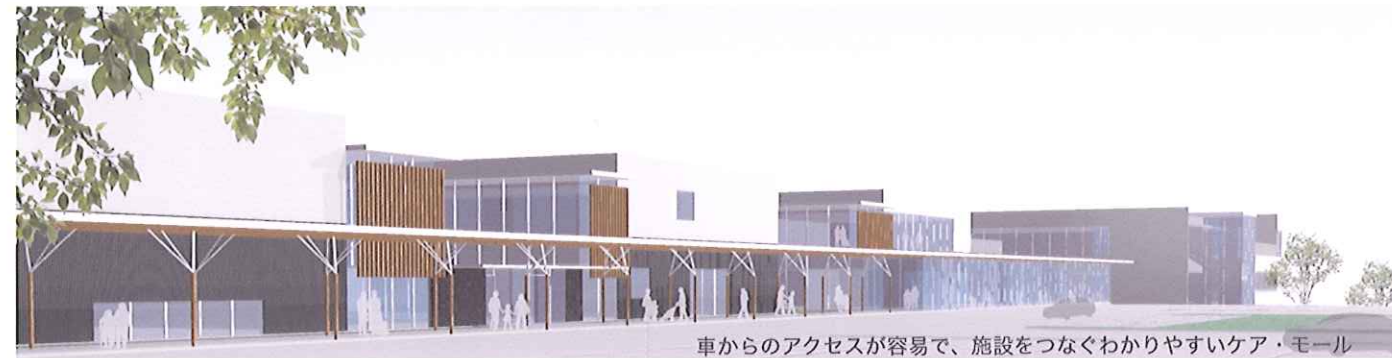
- ・ケアセンターと病院を個別に計画
- ・各敷地が分断
- ・来客駐車場が個別配置
- ・施設間の連携に課題
- ・病院内部の上下移動が多い
- ・ケアセンターと病院の高低差が大きい

連携可能な配置



- ・敷地内の高低差を緩和し連続した施設配置
- ・外来分離により敷地の段差を解消
- ・ワンストップサービスの充実
- ・安全に配慮し来客駐車場を集約
- ・ケア・モールからは2層の低層を実現

ケア・モールがつなぐ地域医療と保健福祉



＜総合ケアセンター計画＞

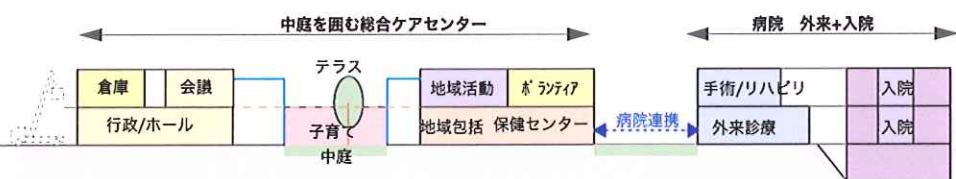
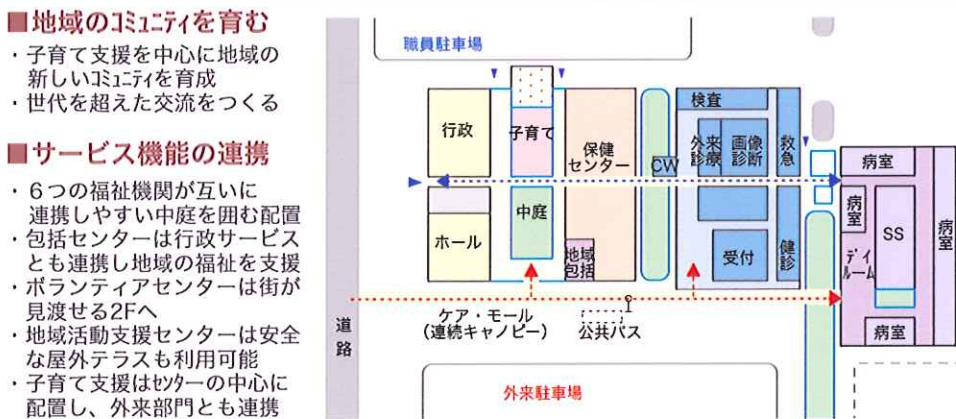
総合ケアセンター ～6つの機関が中庭を介して補完する複合施設～

■地域のコミュニティを育む

- ・子育て支援を中心に地域の新しいコミュニティを育成
- ・世代を超えた交流をつくる

■サービス機能の連携

- ・6つの福祉機関が互いに連携しやすい中庭を囲む配置
- ・包括センターは行政サービスとも連携し地域の福祉を支援
- ・ボランティアセンターは街が見渡せる2Fへ
- ・地域活動支援センターは安全な屋外テラスも利用可能
- ・子育て支援はセンターの中心に配置し、外来部門とも連携



■共用部を補完しあう複合施設

- ・行政サービスはアクセスしやすい配置
- ・多目的ホールを地域イベントや集会など多様に使える共用部に
- ・子育て支援部門はケアセンター内に設置
- ・会議室はセンター全体で共用できる（病院も利用可能）
- ・備蓄倉庫への搬入に配慮

■病院との連携

- ・病院とケアセンターをつなぐ裏動線を配置
- ・保健センターは病院の外来診療部門と近接
- ・看護師、CW/SW、介護士、ボランティア等との強固な連携

■多世代を支える福祉づくり

各機関の連携で多世代を支える地域福祉の場をつくります



＜病院計画＞

外来診療部門と入院部門の分離 ～それぞれの患者へのサービスの充実～

■それぞれの患者にふさわしい環境を確保する外来分離の提案

外来、入院双方の機能を専門充実化

- ・外来部門：スムーズな診療、コンパクトな構成
- ・入院部門：静かで落ち着いた療養環境の提供

- ・建物ボリュームが分節されるため、総合ケアセンターも含めて親しみ易い、ヒューマンスケールでの建物構成
- ・化学療法室や日帰りOPを想定した手術部門の外来ゾーン配置等、通院治療センターとして外来部門の高度専門化

- ・総合ケアセンターと外来棟の連携により、市民の診療、相談、健康啓蒙等を担う総合的医療保健サービス施設としての位置づけが明確化
- ・低層、ロングスパンの外来棟は将来変化で必要となる増改築に容易に対応可能。入院患者への影響も最小限に
- ・分離された外来ゾーンには、将来的に例えば生活利便施設やフィットネス、健食レストラン等の様々な機能複合も図りやすく、健康を中心に据えたまちづくりへの発展も期待

■わかりやすい動線計画

○外来と入院の明確な分離

- ・外来診療と入院患者の検査動線の分離
- ・患者のプライバシーに配慮
- ・サービス、スタッフの管理部門をB1Fに集約

○拡張対応可能な部門構成

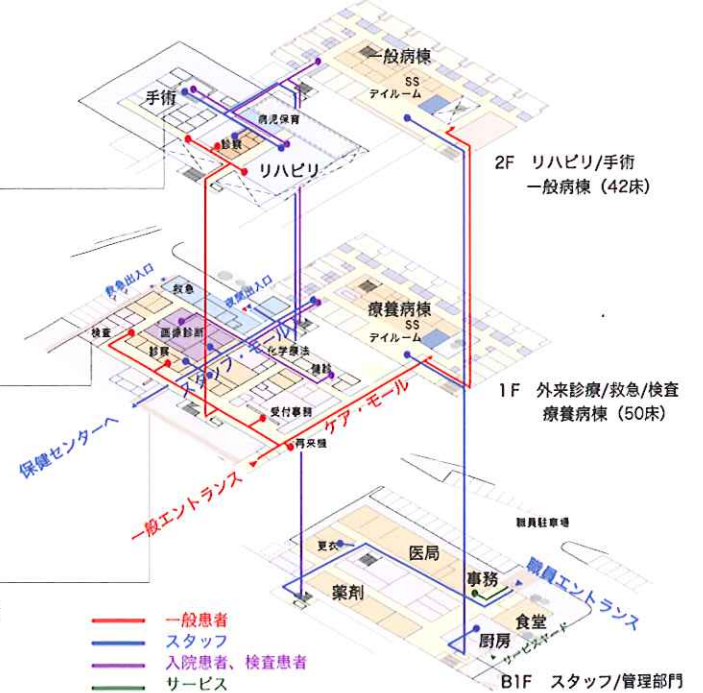
- ・手術、リハビリ、透析など拡張可能な配置
- ・必要な諸室は乾式間仕切りとし、将来の機能変更に対応可能。
- ・日帰り手術も可能な構成
- ・地域の子育てを見守る病児保育室の提案
- ・診察日の少ない科目に対応した診療

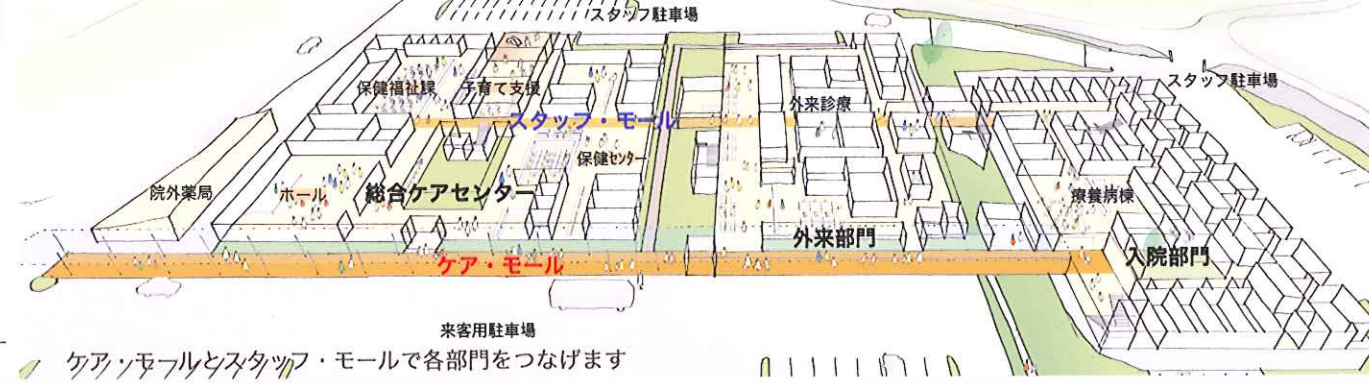
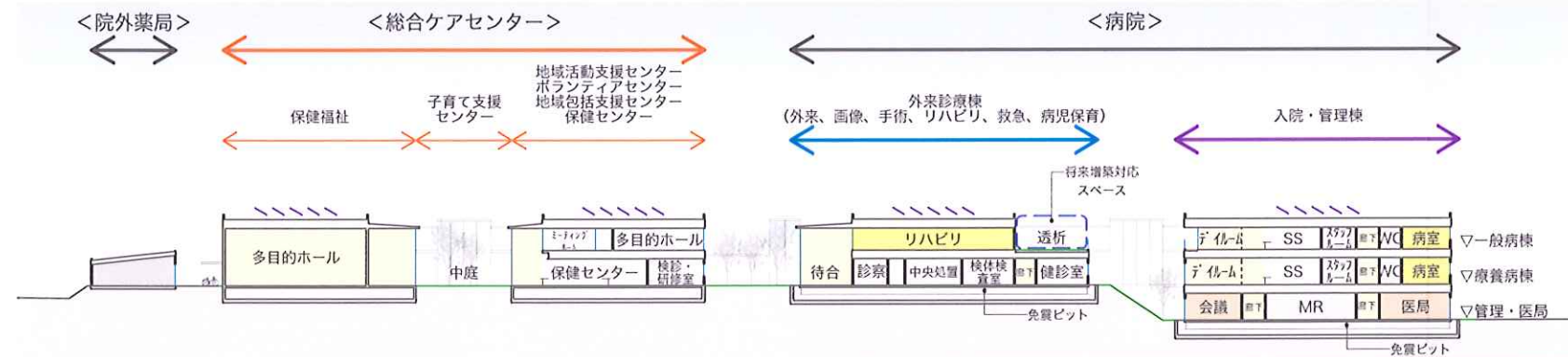
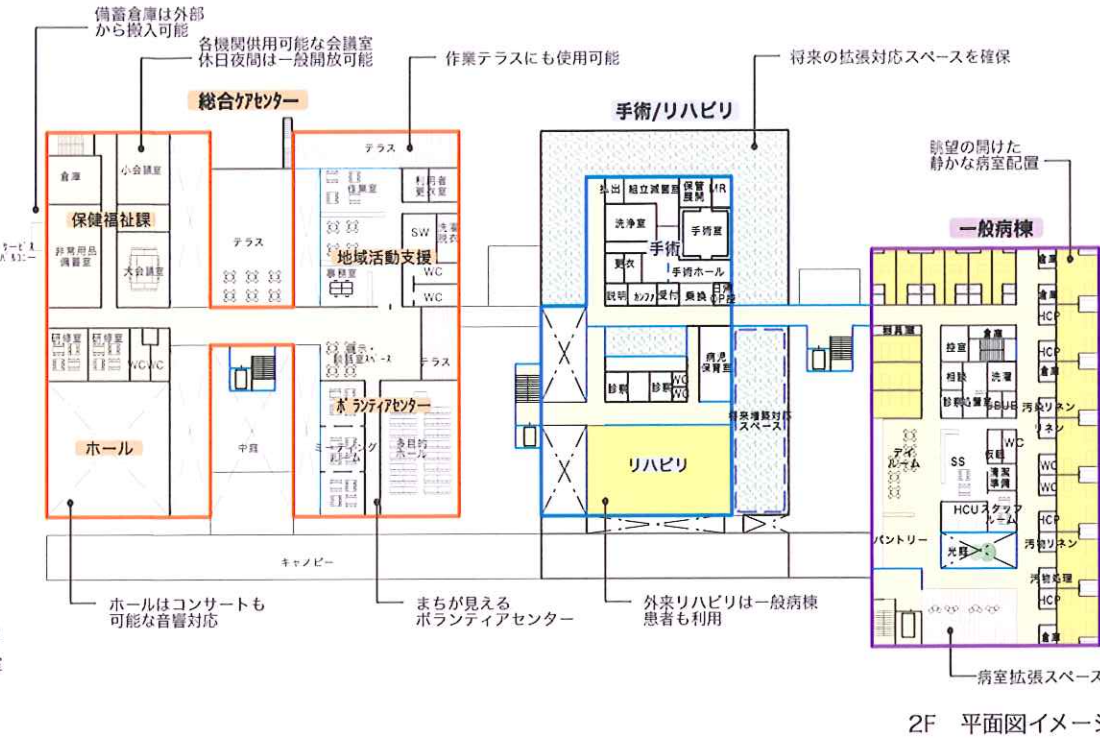
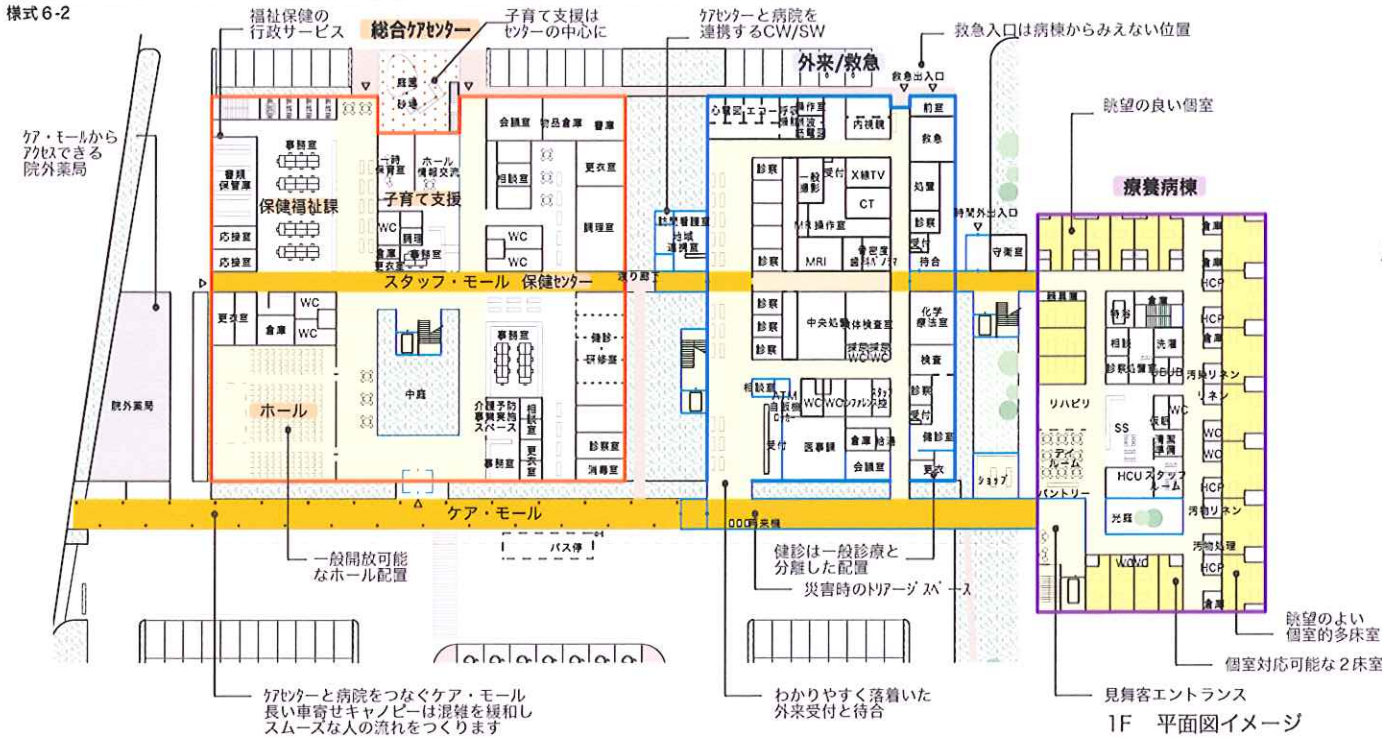
○コンパクトな検査部門

- ・患者さんの移動が短い配置。
- ・スタッフの高効率な運用。
- ・救急入口を東側に配置
- ・医療スタッフの素早い対応が可能
- ・救急夜間外来動線の明確な分離
- ・救急部門への検査／画像診断の近接

○スタッフ・モール

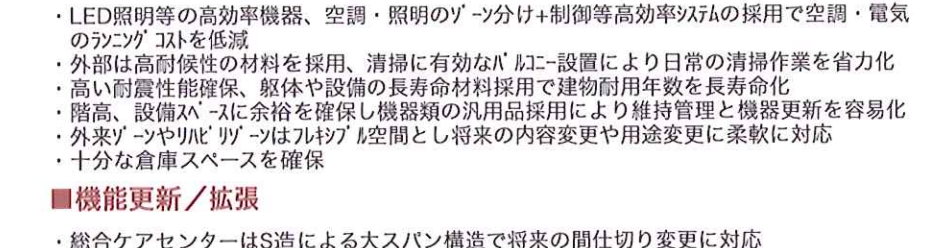
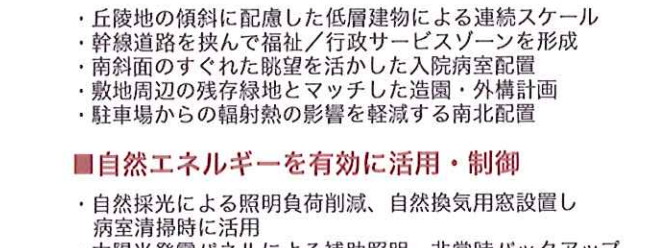
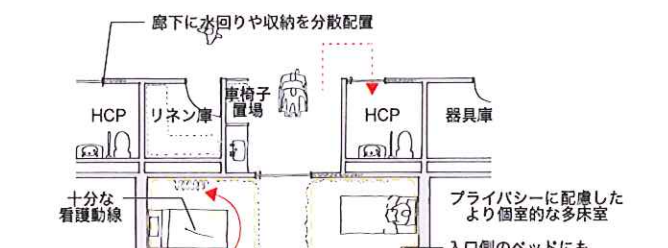
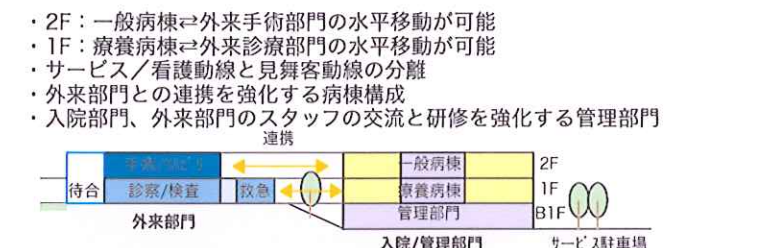
- ・保健センターと連携強化できる総合診療体制機能
- ・外来スタッフ、入院スタッフの連携補完
- ・交流を強化する水平移動
- ・救急搬送受入可能な外来スタッフの裏動線確保



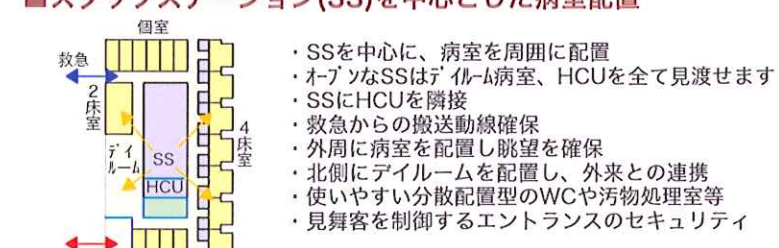


入院部門の考え方 ～まちのような病棟～

■入院/管理部門 ■プライバシーに配慮した多床室 ■周辺環境に馴染む、低層のまち並み ■維持管理と機能更新の容易な長寿命建築



■スタッフステーション(SS)を中心とした病室配置



■生活が完結できる個室

